

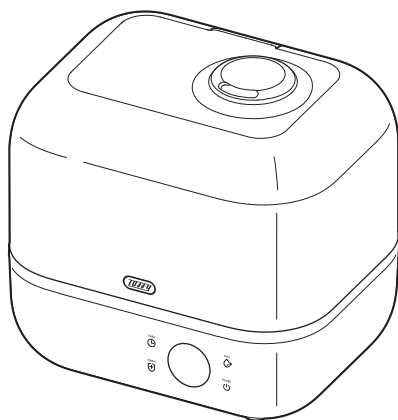


抗菌ハイブリッドアロマ加湿器 〈4.7L〉

品番：HF08

家庭用

もくじ



安全上のご注意	2
使用上の注意	3
各部の名称	4
使用前の準備	5
使いかた	7
エッセンシャルオイルを 使用する場合	11
アロマウォーターを使用 する場合	12
お手入れと保管について	13
故障かな?と思ったときは	14
製品仕様	15
保証書	16

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意 必ずお読みください

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。



警告

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。



表示は、してはいけない「禁止」内容です。



表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

警告

電源について



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしないでください。
火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

その他



本体を分解、または改造しないでください。
火災や感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

本体を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。
破損することがあり、火災や感電の原因となります。
破損した場合には、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

ぬれた手で本体や電源プラグを操作しないでください。
故障、火災、感電の原因となります。

本体や電源コードを水に浸したり、水をかけたりしないでください。また、風呂場、脱衣場、温室などの湿気の多い場所で使用および保管しないでください。
故障、火災、感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

使用中または使用直後は、超音波振動板に指で触れないでください。
やけどの原因となります。



交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
感電、ショート、発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合はふき取ってください。
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショートや火災の原因となります。



乳幼児やペットの手が届く場所で設置や使用しないでください。
本体を倒したり、誤使用により思わぬ事故やけがの原因となります。

お子様や身体の不自由な方、自分で意思表示のできない方だけで使用させないでください。
思わぬ事故やけがの原因となります。

ミストを故意に直接吸わないでください。
健康を害するおそれがあります。

本体と水タンクのお手入れには、掃除用クエン酸と台所用中性洗剤以外は使用しないでください。



異常や故障時には直ちに使用を中止してください。
そのまま使用を続けると火災、感電、けがの原因となります。

本体が入っていた袋は、お子様がかぶらないように手の届かないところに保管または廃棄してください。
窒息のおそれがあります。

注意

電源について



使用後、電源コードを本体に巻き付けしないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源コードは、本体の下を通したり、温度の高くなる部分に近づけたりしないでください。
電源コードの損傷により、感電や火災の原因となります。



お手入れや給水の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やけがの原因となります。



電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートの原因となります。

電源コードはすべてほどいて使用してください。
電源コードを束ねたまま使用すると、重なった部分が熱を持ち、火災の原因となります。

⚠注意

その他



WARM機能を動作中、本体内部の水は最大約70度の高温になります。本体内部の水に触れないでください。
やけどの原因となります。

WARM機能中には、ショートノズルやロングノズルに長時間触れないでください。

40度程度の温度になっている場合があります、長時間の接触は低温やけどの原因となります。

吸気口、送風口、本体のすき間などに、ピンや針金などの異物を入れないでください。

感電やけがの原因となります。

ノズルや吸気口、送風口などの開口部をふさがないでください。

正常な動作が妨げられ、破損や動作不良、過熱、故障の原因となります。

動作中は水タンクをはずさないでください。

水がこぼれ、周囲の物に損害を与えたり、故障の原因となります。

パソコンやテレビなどの電子機器や電気製品、ピアノや特殊な塗装の家具、カーテンや壁紙、特殊な表面加工の壁面などの上や近くには設置しないでください。

ミストが触れたり、転倒して水をこぼしたりすると、機器の故障や対象の表面を傷める原因となります。

本体の上に物を置いたり、ぐらいついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本体を置かないでください。

落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



必ず常温の新しい水道水を使用してください。

ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。



水タンク内の水は、ご使用ごとに必ず新しい水道水と入れ替えてください。また水タンク内はご使用毎に掃除して、必ず清潔な状態で使用してください。

お手入れせずにご使用になりますと、水アカやミネラル分などが付着し、性能が低下するおそれがあります。
また、カビや雑菌が繁殖するおそれがあり、悪臭を発したり、健康を害する原因にもなります。まれに体質により、カビや雑菌に過敏な反応を招く場合もありますので、十分ご注意ください。

ご使用にならない際は水タンクを空にして保管してください。

設置場所の温度変化の影響を受けてまれに水漏れを起こす可能性があります。

目に見えてミストが下に落ちてしまう場合は、エアコン等の風の影響の可能性があります。

ミスト量を少なくするか、エアコン等の風の影響の受けにくい場所に設置してください。

水タンクには絶対にエッセンシャルオイルを入れないでください。

水タンクにエッセンシャルオイルが入ると、水タンクや本体の変形、破損、故障の原因となります。

アロマウォーターを使用する場合は、使用するアロマウォーターの希釈量に従ってください。

アロマウォーターの濃度が高くなると、水タンクや本体の変形、破損、故障の原因となります。

凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を捨てて内部を乾燥させてください。

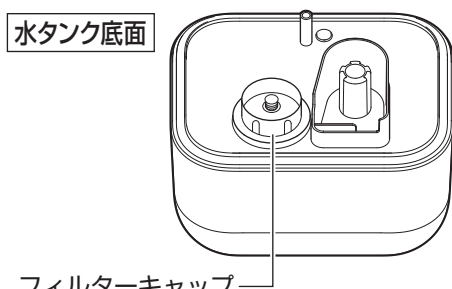
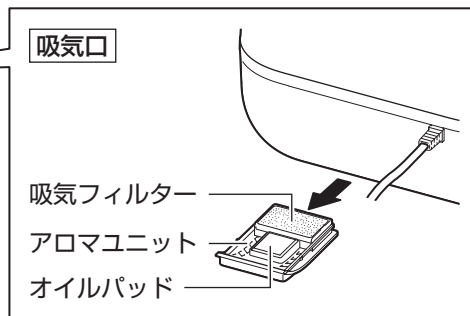
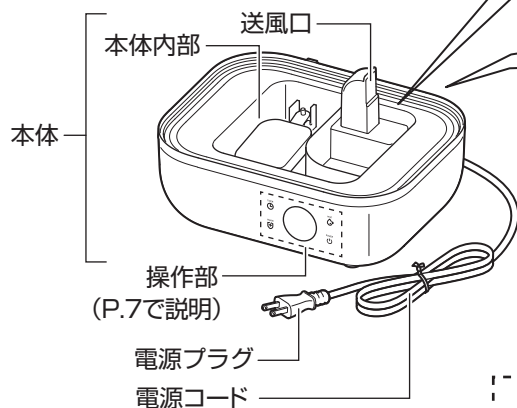
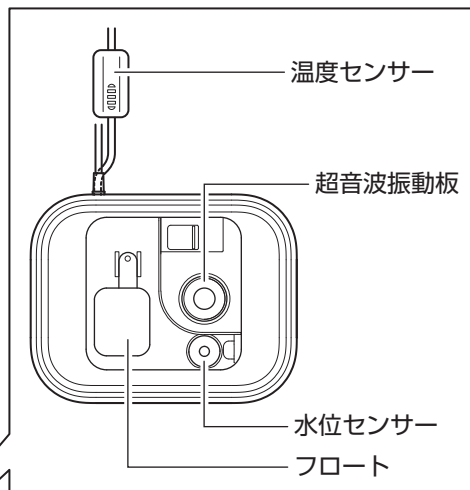
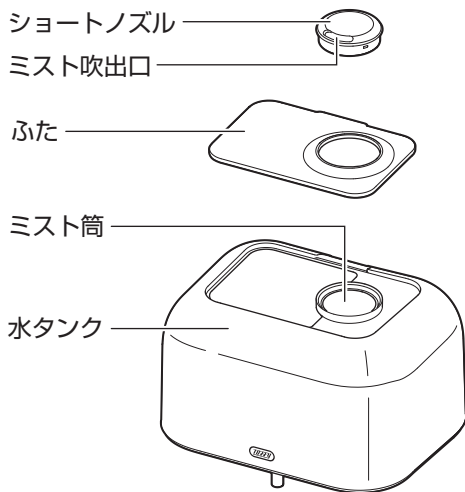
本製品の内部で凍結が起こると、超音波振動板を壊してしまい、故障の原因となります。

使用上の注意

●必ずお守りください

- ・水が周囲にこぼれることがありますので、運転時には本体を硬く平らで安定した場所に置き、向きに注意して水タンクを確実に取り付けてください。
- ・動作中は本体を移動させないでください。移動する場合は電源を切り、水タンクと本体から水を排出してから行ってください。
- ・本体の水を排出する際は、送風口に水が入らないようご注意ください。
- ・水タンクに水が入っていない状態では、絶対に電源を入れないでください。故障の原因となります。
- ・水温や水質など動作環境の影響で、電源を入れた直後はミストの出る量が少ない場合があります。数分程度経過しますとミストの量が安定します。
- ・気温や湿度・気流の関係で、ミストがほとんど出ていないように見える場合もありますが、故障ではありません。
- ・水タンクやふた、ノズルの内側には水滴がつきますので、取りはusus際にはぬれても良い場所を選び、また、水滴を拭き取るタオルなどをご用意ください。
- ・アロマユニット以外の場所に、エッセンシャルオイルやアロマウォーターの原液が付着しないようにしてください。もし付着した場合は、湿った布で直ちに拭き取ってください。
- ・使用しない場合は水タンクと本体の水を空にし、完全に乾燥させて保管してください。
- ・部屋の湿度が高いときなど、使用環境によってはミストが下降して床や壁、家具など周囲がぬれる場合があります。その際は電源を切り、使用を中止してください。
- ・使用後は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。そのままにしておくで電源コードを引っかけるなどして思わぬ事故の原因となります。
- ・柔らかいクッションや毛足の長いじゅうたんの上には設置しないでください。吸気口がふさがり、動作異常や故障の原因となります。
- ・暖房器具や火気のそばなどの高温になる場所には、本製品を設置しないでください。本体の故障や変形の原因となります。
- ・WARM機能を動作中は、本体内部の水が高温になります。やけどにご注意ください。
- ・給水量は、水タンクのMAXラインを超えないようご注意ください。水タンクからの水が溢れやすくなったり、転倒しやすくなります。
- ・本体内部には直接給水しないでください。正しく動作しなくなります。必ず水タンクに給水するようにしてください。
- ・カーテンのそばには設置しないでください。ミスト吹出口がふさがれる可能性があります。

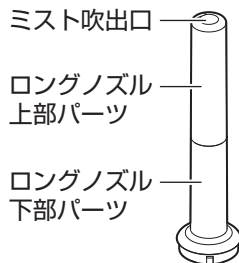
各部の名称



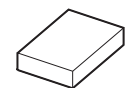
※フィルターキャップは必ずゆるみがないように取り付けてください。
ゆるみがあると、水漏れや動作不良の原因となります。

付属品

ロングノズル



オイルパッド×3枚



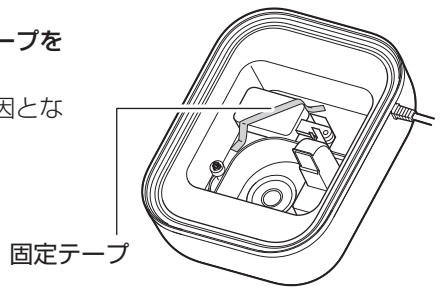
1枚はセット済

ロングノズル・ショートノズルどちらかを選択して取り付けてください。
ロングノズル使用時には、ロングノズル上部パーツとロングノズル下部パーツを組み立ててお使いください。

使用開始前のご注意

初めて使用するときにはフロートを固定しているテープを必ず取りはずしてください。

取りはずさずに使用すると、水漏れや動作不良の原因となります。



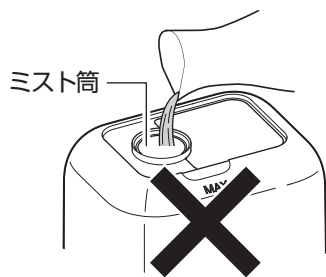
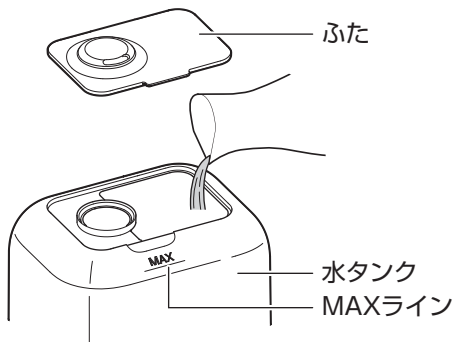
使用前の準備

準備

1. 本体をかたく平らで安定した場所に設置してください。
※本体底面にある、吸気口をふさがないようにご注意ください。
2. ふたをはずし、水タンクへ水道水を入れてください。
上から給水できます。

⚠ 注意

- ・初めて使用するときは、フロートを固定しているテープを外してください。(P.5)
- ・使用環境の温度差による水漏れを防止するため、使用直前に注水してください。
- ・本体内部には直接給水しないでください。正しく動作しなくなります。
必ず水タンクに給水するようにしてください。
- ・常温の水道水以外は使用しないでください。
雑菌・カビ繁殖の原因となります。
- ・給水するときに、ミスト筒の中に水が入らないようにご注意ください。
水漏れの原因となります。
- ・電源プラグをコンセントから抜いた状態で給水してください。
水がこぼれると故障の原因となります。

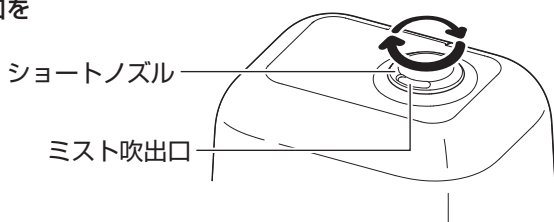


- ・MAXラインを超えないように給水してください。
- ・本体から水タンクを取り外して給水することもできます。

3. ふたとノズルを取り付けてください。
4. コンセントに電源プラグを差し込んでください。

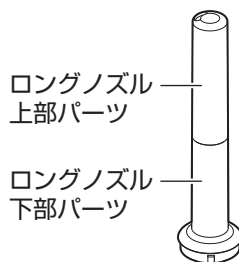
《ショートノズルを使用する場合》

ショートノズルを使用すると、ミスト吹出口を360度回転させることができます。



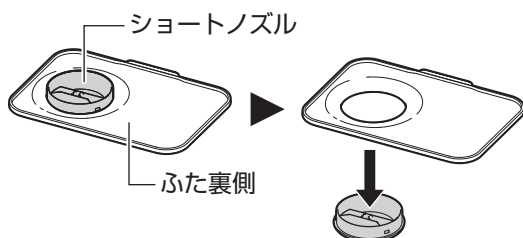
《ロングノズルを使用する場合》

1. ロングノズル上部パーツとロングノズル下部パーツを組み立てます。



2. ショートノズルを取りはずしてください。

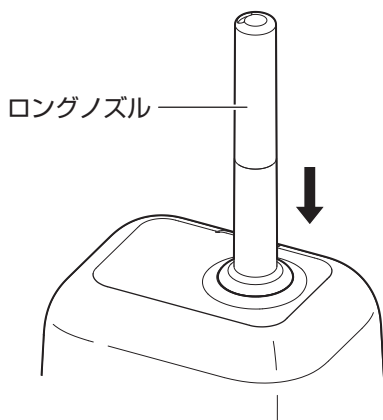
ふたを取りはずし、裏側からショートノズルを押して、取りはずします。ショートノズルはふたにツメで固定されている状態なので、押しはすずことができます。



3. ロングノズルを取り付けてください。

ふたに差し込んで、取り付けます。ある程度の力をかけて、上から差し込んでください。正しくはまると、軽く引っ張っても抜けることはありません。取り付け方向には正面や背面という方向はありませんので、任意の向きで取り付けてください。ロングノズルも360度回転させることができます。

ロングノズルを取りはずす場合は、ロングノズル下部パーツをつかんで、上に引き抜いてください。ふたにツメで固定されている状態なので、力を加えて上に引っ張って取りはずすことができます。回転させても取りはずすことはできません。



使用をはじめる

1. 本製品はタッチセンサー式です。本体の電源ボタンにふれて、電源を入れてください。

電源が入ると、本体の液晶画面が点灯し、弱モードで加湿を始め、液晶画面に現在の湿度が表示されます。前回の電源OFF時から電源プラグを抜いていない場合、前回のモードで動作を始めます。

(タイマーモードを除く)

操作をしてから約5秒経過すると、液晶画面は暗くなります。再度操作をすると、元の明るさに戻ります。

⚠注意 湿度表示は目安です。

- ・ 本体背面にある湿度センサーで検知した湿度状況を表示します。
- ・ 湿度の激しい変化や、設置された環境によっては、正しい湿度表示がされないことがあります。
- ・ 湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、他の湿度計の表示と必ずしも一致しないことがあります。

2. 本体の「MIST」、「WARM」、「TIMER」の各種ボタンを操作してモードを切り替えることにより、様々な加湿運転をさせることができます。

MISTボタン (P.8)

弱モード・中モード・強モード・AUTOモード・SLEEPモードを選択して運転します。

WARMボタン (P.9)

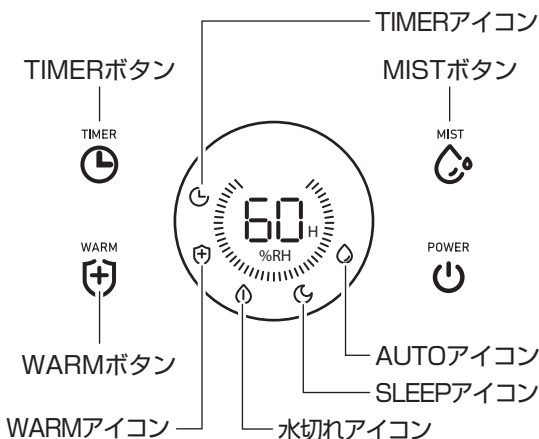
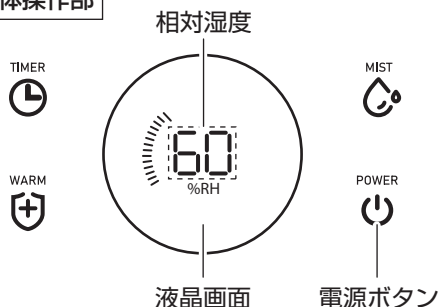
本体内部の水を温め、効率的に室内を加湿させたり、室温を大きく下げないで加湿することができます。

※暖房器具のように部屋を温める機能ではありません。

TIMERボタン (P.9)

1時間から12時間の間で、1時間単位で運転停止までの時間を設定できます。

本体操作部



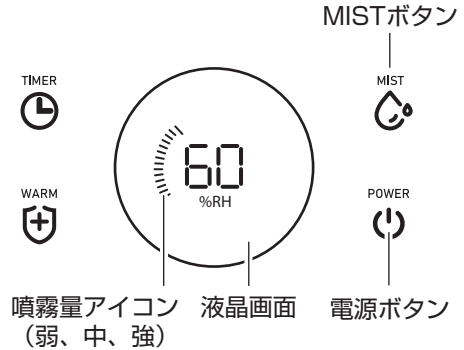
※水がなくなると、自動的に運転を停止し、水切れアイコンが点灯します。本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて水タンクに給水してください。

ミスト機能

電源を入れた状態で、MISTボタンを押すと、ミストモードを以下のように変更することができます。

→ 弱 → 中 → 強 → AUTO → SLEEP →

本体操作部

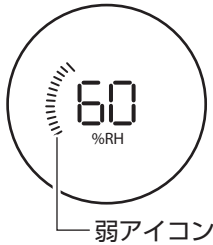


1. マニュアルモードで運転する

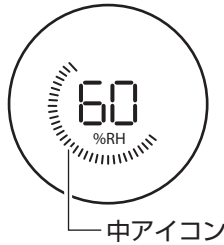
弱モード・中モード・強モードのいずれかを設定すると、湿度に関係なく設定した強さ（噴霧量）で加湿をします。

液晶画面

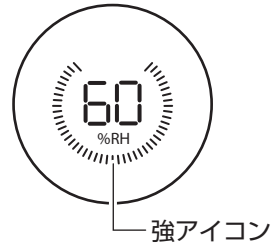
《弱モード》



《中モード》



《強モード》



2. AUTOモードで運転する

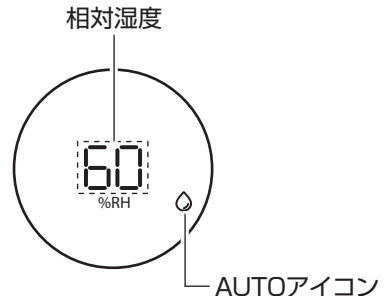
室温の相対湿度を検知して、自動で噴霧量を（弱、中、強）調節します。

液晶画面

AUTOモードに設定をすると、湿度に関係なく最初の約30秒間、強モードで加湿をします。

このとき、本体の湿度センサーが現在の本体周辺の湿度を判断し、その後の動作モード（弱モード・中モード・強モード）を判別し、以降、約30秒ごとに湿度に合わせた動作モードで加湿します。

- ・湿度 約40%以下なら 強モード運転
- ・湿度 約40%～60%なら 中モード運転
- ・湿度 約60%～85%なら 弱モード運転
- ・湿度 約85%以上なら 送風モード運転（ミストなし）



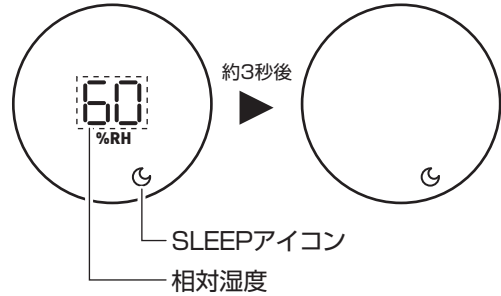
3. SLEEPモードで運転する

SLEEPモードは弱モードで加湿し、一旦SLEEPアイコンと相対湿度が表示され、約3秒後に相対湿度表示が消え、SLEEPアイコンが明るさが落ちた状態で表示されます。

⚠注意

冬場の就寝時に暖房器具を止めている場合、室温が低下して空気が保水できる量が下がってくるため、湿度が上がらずに、結露が発生したり、床がぬれたりしてしまう場合があります。就寝時に加湿器を使う際には、スリープモード、または弱モード運転にするか、状況によっては使用を中止してください。

液晶画面



WARM機能

本体内部の水を温めることで効率的に加湿したり、室温を大きく下げないで加湿することができます。

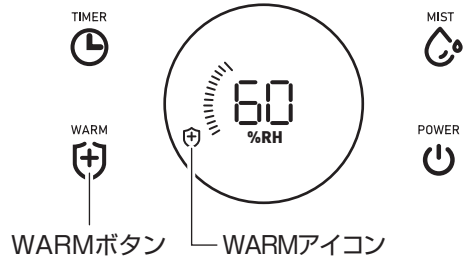
WARMボタンをタッチしてWARM機能をONにします。もう一度WARMボタンをタッチするとOFFになります。

WARM機能が動作中には、WARMアイコンが表示されます。

⚠注意

WARM機能を動作させると、本体内部の水が最大70度まで上昇します。本体内部の水に触れないでください。

本体操作部



TIMER機能

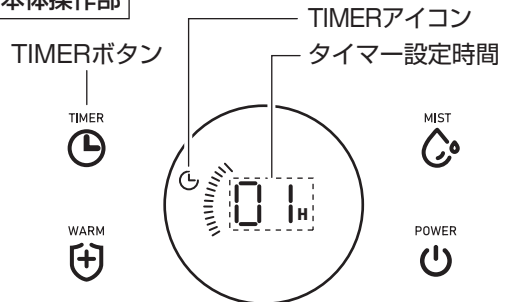
1時間から12時間の間で、1時間単位で運転停止までの時間を設定できます。

TIMERボタンにタッチしてタイマー時間を設定します。タッチを繰り返すことで、タイマー時間を設定することができます。

約3秒待つと設定した時間で確定します。

TIMER機能が動作中には、TIMERアイコンが表示されます。

本体操作部



使用を終える

使用を終える場合は、残った水を排水し、お手入れをしてください。



注意

WARM機能を動作中、本体内部の水は70程度
度の高温になります。
かならず30分以上おいて、十分に温度が下がっ
てから作業を行ってください。

1. 電源を切るときは、電源ボタンを押して、電源を切ってください。
※電源を切っても、本製品は約6秒送風を続けます。これは本体内のミストを本体外に出すための動作です。
2. 内部ファンが停止したことを確認したうえで、電源プラグをコンセントから抜いてください。
3. ふたをはずし、本体から水タンクを取りはずしてください。
4. 水タンクに残っている水を排水してください。
5. 本体内部にたまっている水を排水方向から排水してください。

本体の送風口に水が入らないように、必ず、右図の方向から排水してください。



注意

排水をする場合には、送風口に水が入らないようご注意ください。故障の原因となります。

6. お手入れをしてください。

「お手入れと保管について」(P.13)を読んでお手入れをしてください。



注意

- ご使用の後には、お手入れを行ってください。お手入れのしかたについては、13ページ「お手入れと保管について」の項目をご覧ください。
- ご使用後は設置場所の温度変化の影響を受けてまれに水漏れを起こす可能性がありますので、水タンクと本体の水を空にして保管してください。

本体操作部

TIMER



WARM



MIST

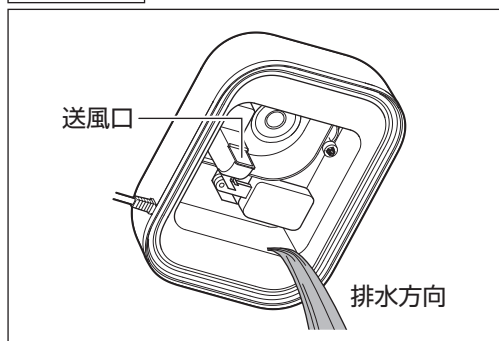


POWER



電源ボタン

排水の仕方



エッセンシャルオイルを使用する場合

⚠注意 エッセンシャルオイルの取扱説明書もよくお読みください。

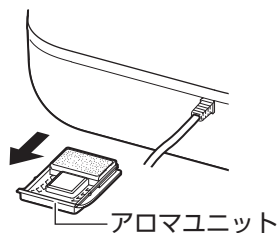
⚠注意

- ・アロマユニット以外の場所にオイルが付着しないようにしてください。アロマユニット以外のパーツの材質はエッセンシャルオイルへの耐性がないため、変形、破損の原因となります。もし付着した場合は、湿った布で、直ちに拭き取ってください。
- ・水タンクには絶対にエッセンシャルオイルを入れないでください。また、オイルパッドにエッセンシャルオイルを染み込ませるときは、必ずアロマユニットからオイルパッドをはずしてください。水タンクにエッセンシャルオイルが入ると、水タンクの変形、破損、故障の原因となります。

※エッセンシャルオイルは別売です。市販の天然抽出成分100%ピュアエッセンシャルオイル（精油）を使用してください。

準備

1. 本体からアロマユニットを取りはずしてください。



2. アロマユニットからオイルパッドを取りはずし、オイルパッドにオイルを数滴染み込ませて元に戻してください。



3. アロマユニットを本体に取り付けてください。

⚠注意 アロマユニットを本体に取り付けるとき、本体にオイルが付着しないようにしてください。オイルが付着したときは、すぐに拭き取ってください。

オイルパッドについて

アロマオイルの種類を変更する場合は、オイルパッドを交換してください。

- ・オイルパッドは洗うことができません。汚れた場合や別のアロマオイルを使う場合は、新しいオイルパッドに交換してください。
- ・取りはずしたオイルパッドの取り扱いにご注意ください。
- ・交換用のオイルパッドは別売りです。お求めになるには、本製品を購入した販売店に以下の品名・品番をお伝えください。

HF08専用オイルパッド AOP-08 ￥330（税込）

アロマウォーターを使用する場合

水タンク内にアロマウォーターを適量入れてください。



注意

- アロマウォーターの量は使用するアロマウォーターの希釈量に従ってください。
アロマウォーターの濃度が高くなると、水タンクや本体の変形、破損、故障の原因となります
- ミスト筒内部や本体内部には入れないでください。

※アロマウォーターは別売です。

お手入れと保管について

本製品は、使用ごとに必ずお手入れを行ってください。

お手入れをせずに本製品を使い続けたり、そのままの状態では保管したりすると、本体の故障や、雑菌・カビが繁殖する原因となります。



注意

- ・雑菌・カビの繁殖は悪臭の原因となります。また、そのまま本製品を使用すると、発生するミストに雑菌やカビが混入して、健康に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・お手入れの前には必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。

製品外部の清掃

本製品が汚れた場合には、水でぬらして固く絞った柔らかい布で、やさしく拭いてください。

水タンク内部および本体の洗浄

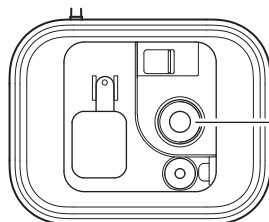
水タンク内部および本体はご使用ごとに洗浄してください。定期的に洗浄を行わないと、内部に汚れが付着し、雑菌やカビなどの繁殖を早めることになります。

1. 4.7Lのぬるま湯に市販の掃除用クエン酸を100g溶かし、水タンクへ入れてふたを取り付けてください。
そのまま3時間程度放置してください。
2. 水タンクと本体から排水し、水でよくすすいでください。
送風口に水が入らないようにご注意ください。
3. 本体の超音波振動板を綿棒でやさしく拭いてください。
超音波振動板にカルキや汚れが付着すると、正常に動作しなくなることがあります。
振動板は精密部品ですので、強い力を加えないようにご注意ください。
4. 本体を湿らせた布でやさしく拭いたあと、乾いた布で丁寧に拭いてください。



注意

- ・クエン酸は必ず市販の掃除用のものをご使用ください。
- ・クエン酸のご使用におきましては、販売元の使用上の注意に従ってください。
- ・水(ぬるま湯)以外のものと混ぜないでください。
- ・指定分量以上のクエン酸を入れないでください。



超音波振動板

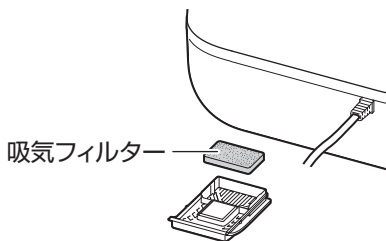
吸気フィルターのお手入れ

吸気フィルターは取りはずして水洗いすることができます。
十分に乾燥させてから取り付けて使用してください。



注意

吸気フィルターを取り付けずに運転しないでください。
本体の故障の原因となります。



アロマユニットの洗浄

エッセンシャルオイルを変更する場合やアロマユニットを含む本製品の保管の前には、アロマユニットを台所用中性洗剤で洗浄してください。また、保管の前にはよく乾燥させてください。

製品の保管

お手入れを行った後、本体と水タンクの内部が完全に乾燥した状態で保管してください。



注意

- ・長期間ご使用にならない場合は、お手入れをした後、完全に乾燥させてから保管してください。
- ・長期間保管した後、再使用する際には、上記と同様のお手入れを行ってください。

故障かな?と思ったときは

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処
電源が入らない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？ 水タンクに水は入っていますか？	- 電源プラグをコンセントに差し込んでから、電源を入れてください。 - 水タンクが空になると自動的に運転を停止します。給水してからお使いください。
ミストが出ない・ミストの出が悪い	水タンクに水は入っていますか？ 吸気フィルターが汚れていませんか？ クッションや毛足の長いじゅうたんなどの上などで使用していませんか？ 風のある場所で使用していませんか？ 気温や湿度など、周囲の環境によってミストが見えにくくなることがあります。 超音波振動板が汚れていませんか？	- 水タンクが空になると自動的に運転を停止します。給水してから、お使いください。 - 吸気口にホコリなどが付着していると、空気の流れる量が減り、ミストが出にくくなります。吸気フィルターをお手入れしてください。（P.13） - 吸気口をふさいでしまい、ミストが出にくくなります。故障の原因となりますので設置場所を変えてください。 - エアコンの近くなど、気流のあるところで使用すると、ミストが見えにくくなることがあります。 - ミストが見えにくくても、水タンク内部で正しくミストが発生し、送風ファンが作動している（モーター音が聞こえる）場合は故障ではありません。 - 超音波振動板のお手入れをしてください。（P.13）
水タンク内や周囲のものに白い粉状のものが付着する	水道水に含まれるカルキです。	水タンク内のカルキは、お手入れと保管についての記載（P.13）に従って洗浄してください。周囲に付着したカルキは、柔らかい布などでやさしく拭き取ってください。
使用していたら床がぬれてしまった	夜間の低温度時での使用など、気温や湿度などの使用環境によってはミストが結露して床がぬれる場合があります。	- 噴霧量を弱モードにするか、設置場所を変更してください。 - エアコンなどの風の当たる場所では正常に噴霧されない場合がありますので、そのような場所は避けてください。 - 上記の対策を行っても状況が改善されない場合、使用を中止してください。
水が漏れる	水タンクはきちんと取り付けられていますか？ フロートの固定テープをはずしていますか？	- 水タンクをきちんと取り付けてください。 - 使用開始前にはフロートを固定しているテープを外してください。（P.5）
アロマ以外の香りがする	水道水以外の水を使っていませんか？ お手入れをしたとき、水洗いを十分しましたか？	- 水道水以外の水は傷みやすく、質が変わり、香りにも影響するので使用しないでください。水タンクにある水を捨て、十分お手入れをしてから水道水で使用してください。 - 水タンク内にあるアロマウォーターなどの成分が変化した可能性があります。水タンクにある水を捨て、十分お手入れをしてから水道水で使用してください。
本体が熱くなる	WARM機能が動作していませんか？	WARM機能が動作中は、本体が少し熱くなります。（触れられないほど熱くなる場合は、使用を中止してください。故障のおそれがあります。）

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品 名	Toffy 抗菌ハイブリッドアロマ加湿器 〈4.7L〉
品 番	HF08
加 湿 方 式	加熱超音波振動方式
電 源	AC100V 50-60Hz
消 費 電 力	WARMをOFFで加湿：30W、WARMをONで加湿：140W
水 タ ン ク 容 量	約4.7L
ミ ス ト モ ー ド	弱→中→強→AUTO（湿度センサー自動運転）→SLEEP
タ イ マ ー	連続（水切れまで）→約1時間～約12時間
連 続 加 湿 時 間	約18時間（WARMをOFFで弱モード時）
加 湿 能 力	強モード：400mL/h±50mL 中モード：350mL/h±50mL 弱モード：250mL/h±50mL ※WARMをONでロングノズル装着時。 ※環境により異なります。
適 応 床 面 積	プレハブ洋室11畳、木造和室7畳
電 源 コ ー ド 長	約150cm
外 形 寸 法	約245(W)×247(H)×192(D)mm（ショートノズル装着時）
重 量	約1,500g（付属品含まず）
主 な 材 質	ABS樹脂、PC、ポリプロピレン
対 応 ア ロ マ	アロマユニット：100%ピュアエッセンシャルオイル（別売） 水タンク：アロマウォーター（別売）
使 用 環 境	温度5～40℃、湿度30～85%
付 属 品	オイルパッド×3枚（1枚はセット済）、ロングノズル、ユーザーズガイド（保証書含む）
生 産 国	中国

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

（This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）

※「Toffy」は（株）ラドンナ、（株）キングジムの登録商標です。



ISO 22196
抗菌加工

無機抗菌剤・練込
水タンク、ふた、
ノズル、キャップ、
本体内部、フロート

SIAA マークは、ISO22196 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

■発売元 株式会社ラドンナ 〒135-0031 東京都江東区佐賀 1-5-9 永代 MK ビル <https://ladonna-co.net/>

本書の内容および製品仕様は、予告なく変更することがあります。

2021-①